

## 平成24年度における美里町財政健全化の取組状況について

美里町財政健全化計画については、平成19年6月に向こう5年間（平成23年度まで）の計画を策定して、自立的で健全な財政運営の確保に努めてきました。この期間、東日本大震災により甚大な被害を受け、町の行財政運営は一時的に停止せざるを得ない緊急事態となりました。

今後10年間の財政推計から、厳しい財政運営が求められており、平成24年12月に平成25年度から平成27年度までの第2次財政健全化計画を策定いたしました。平成24年度については、東日本大震災の影響により、財政健全化計画は策定しておりませんが、財政健全化についての取組状況について、お知らせいたします。

### 1. 財政指標等について

指標等の名称	平成24年度決算数値	平成23年度決算数値	健全化計画目標値
経常収支比率	89.9%	89.7%	85%以下
実質公債費比率	14.8%	15.2%	15%以下
将来負担比率	82.9%	89.3%	85%以下
町税の収納率	91.7%	90.1%	

健全化計画目標値は、第2次財政健全化（平成24年12月策定）で定めた数値です。

### 2. 財政健全化（目標値）と平成24年度決算の比較

平成24年度は、財政健全化計画を策定していないため、財政健全化（目標値）を財政推計の数値に置き換えて、平成24年度決算を比較してみますと別表のようになります。

歳入については、市町村民税の伸び及び徴収率アップにより、地方税が目標値より1億円多い結果となりました。地方交付税（震災復興特別交付税）の増額により基金からの繰入金を抑えることができました。町債においては、目標値より低い結果となりましたが、これは、繰越事業等が多かったため、翌年度への借入れに変更となるものです。

歳出については、震災ごみの廃棄物処理費用が予定を下回ったことにより、物件費が目標値より大きく減少しました。扶助費については、自立支援法の改正等により給付費が増えています。また、建設事業費については、東日本大震災の復旧事業を優先して進めてきたため、翌年度への繰越事業が多くなり、目標値より低くなる結果となりました。

なお、歳入歳出の差額418,393千円のうち233,361千円は、平成25年度への繰越事業の財源となります。

(別表) 財政推計と平成24年度決算の比較(単位:千円)

区 分	平成24年度 財政推計	財政健全化 (目標値) ①	平成24年度決算 (繰越分含む)	決算と目標値 との比較 (-①)	
歳入	1. 地方税	2,312,513	2,312,513	2,412,852	100,339
	2. 地方譲与税・交付金	450,024	450,024	439,340	10,684
	3. 地方交付税	4,237,131	4,237,131	4,391,074	153,943
	4. 分担金・負担金	7,212	7,212	7,143	69
	5. 使用料・手数料	178,054	178,054	187,772	9,718
	6. 国庫支出金	2,213,427	2,213,427	2,166,257	47,170
	7. 県支出金	742,890	742,890	776,456	33,566
	8. 財産収入・寄附金	32,807	32,807	32,093	714
	9. 繰入金	424,211	424,211	262,500	161,711
	10. 諸収入	155,982	155,982	195,194	39,212
	11. 繰越金	790,802	790,802	790,802	0
	12. 地方債	1,732,800	1,732,800	1,468,500	264,300
	うち臨時財政対策債	498,500	498,500	498,500	0
うち合併特例債	782,500	782,500	605,500	177,000	
歳入総額(A)	13,277,853	13,277,853	13,129,983	147,870	
歳出	1. 人件費	1,901,925	1,901,925	1,894,578	7,347
	2. 物件費	1,976,222	1,976,222	1,684,460	291,762
	3. 維持補修費	104,271	104,271	99,609	4,662
	4. 扶助費	894,610	894,610	1,032,972	138,362
	5. 補助費等	1,558,079	1,558,079	1,599,442	41,363
	6. 公債費	1,589,404	1,589,404	1,582,612	6,792
	7. 積立金	911,377	911,377	967,016	55,639
	8. 投資・出資・貸付金	237,588	237,588	174,819	62,769
	9. 繰出金	1,084,101	1,084,101	1,061,318	22,783
	10. 建設事業費	2,044,633	2,044,633	1,683,462	361,171
	11. 災害復旧費	965,643	965,643	931,302	34,341
	12. 失業対策費	0	0	0	0
歳出総額(B)	13,267,853	13,267,853	12,711,590	556,263	
次年度に繰越すべき財源(C)	0	0	233,361	233,361	
投資余力(D) = (A) - (B) - (C)	10,000	10,000	185,032	175,032	

平成24年度は、東日本大震災の影響により、健全化計画は策定していないため、目標値を、財政推計の数値としています。

歳入の「」は、目標値を達成できなかったものです。

ただし、地方債は借入金であるため「」となったほうがよいわけで、

プラスとなっているのは目標値より借入れが多かったことを表しています。

歳出の「」は目標値を達成したもので、プラスとなっているものは、目標値を達成できなかったものです。

積立金については、各種基金への積立てであり、将来に備えての蓄えと言えます。